

自分の身を守る

自分の家を守る

被害の大きさを
見極め近隣を守る

地域を守り自分が
守られる

7. 家族の安否を確認したり決めておいた集合場所で落ち合う



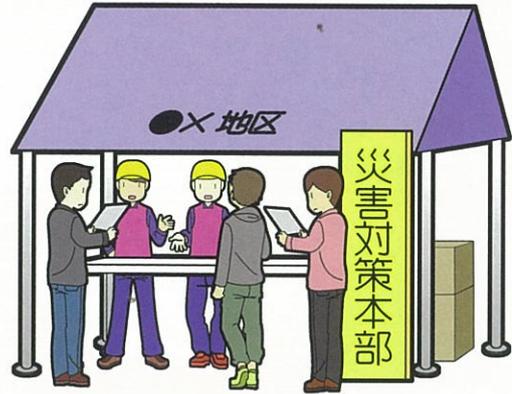
家にいる家族はやる事が多く大変です。そこで、外出している方から家へ連絡します。



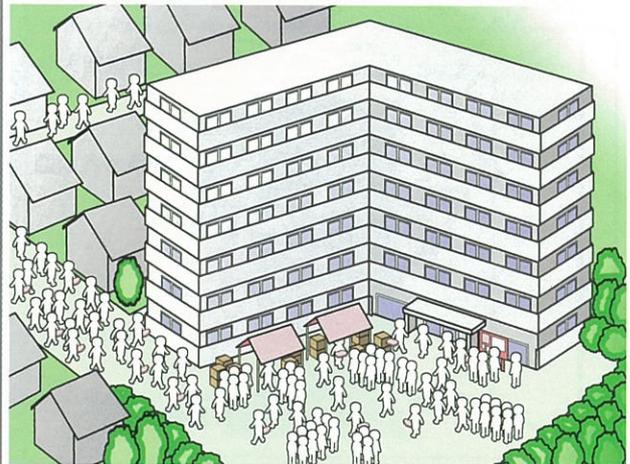
落ち合う場所は通常は避難所にします。

安否確認は、外出している方から家庭に連絡するというルールを確認しておくべきです。家が被災した場合、家族が落ち合う場所をあらかじめ決めておく必要があります。

8. 周りの情報を集め地域で協力する体制を作る



情報は地域の自主防災組織の災害対策本部または避難所へ行って集めます。



マンションの駐車場などは、地域の支援拠点として有効です。

家の中にいたのでは、周りがどうなっているか、行政がどのような支援をしているかといった情報はわからないので、自主防災組織による災害対策本部や小学校などの避難所へ行って情報を集めたり、救援物資の配給を受けます。マンションと地元の町会との協力も大切です。